



親子で協力して、「ゲイラカイト」型の凧を作って、空高くあげよう!

よくあがる「凧」はどうやって作れば良いか、みなさん知っていますか? まずは材料が大切です。ビニールシートやひのき棒を使います。

また、左右対称に作ることも重要です。そのためには、設計図の通りに作る、工作の力も大切です。

この教室では、材料や設計図は用意しますので、親子で協力し合って、良く上がる凧を作ってみませんか?そして、できた凧を楽しく上げてみましょう。



多くの親子のみなさんのご参加をお待ちしています!

日 時 平成31年4月20日(土) 午前9時30分~12時00頃

場 所 会津稽古堂美術工芸スタジオ

参加対象 会津若松市内及び大熊町立の小学校
小学4年生から6年生の親子 17組

参加費用 無 料

応募方法 会津若松市商工課へ「電話」または「FAX」でお申込みください。
※電話でお申込みの際は、①氏名(保護者・児童) ②住所
③電話番号 ④学校名・学年をお伝えください。

募集締切 平成31年4月16日(火)まで
※定員になり次第、募集を締め切ります。

持参物 ・油性ペン(太) ・鉛筆 ・ハサミ ・カッターナイフ
・ハンカチ、ティッシュ ・リュック等
※道具については、事務局でもいくつか用意いたしますが、使い慣れたものがありましたらご持参ください。

親子発明工作教室申込用紙

会津若松市役所商工課 行 【FAX 39-1433】

下記のとおり「親子発明工作教室」に申し込みます。

(ふりがな)

○児 童 氏 名 _____

学校名 _____ 小学校 _____ 年 _____

○保護者 氏 名 _____

〒

○連絡先 住 所 _____

電話番号 _____

FAX 番号 _____

科学技術週間とは？



「科学技術週間」は、科学技術について広く一般の方々に理解と関心を深めてもらい、日本の科学技術の振興を図ることを目的として昭和35年2月に制定されました。

最近では、青少年の「科学技術離れ」「理科離れ」も指摘されています。青少年の科学技術に親しむ機会を充実することも将来の日本にとって大切なことです。

そこで、全国各地の科学館、博物館、大学、試験研究所などでは、この科学技術週間を利用して講演会、展覧会、映画会、座談会、施設公開など、さまざまなイベントが行われています。